

| | |
|-----|--------------------------------|
| 事業名 | 環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業 |
|-----|--------------------------------|

| | |
|-----|------------------|
| 活動名 | 循環型社会の実現に向けた環境行動 |
|-----|------------------|

| | | | |
|-----|-------|------|----------------|
| 担当者 | 高根 美保 | 主催団体 | NPO法人エコライフはままつ |
|-----|-------|------|----------------|

| | | | |
|------|------|--------|------|
| 事業区分 | 講師派遣 | 事業サイクル | 継続事業 |
|------|------|--------|------|

| | |
|-------|--------------------|
| 活動の目的 | 環境行動を学び実践できる人を育てる。 |
|-------|--------------------|

| | |
|------|---|
| 実施内容 | |
| 活動日時 | 2025年5月14日(金)10:00~11:30 |
| 活動場所 | 浜松市立西部清掃工場 えこはま (浜松市中央区篠原町26098-1) |
| 活動者名 | 村河(工場見学案内)、高根(環境学習) |
| 詳細 | 循環型社会の実現に向けた資源循環の強化 ・ごみって何? ・廃棄物法について ・ごみの歴史 ・清掃工場をつくるには・・・ ・西部清掃工場見学 ・啓発施設「えこはま」の活動紹介 |

| | |
|-------|--|
| 事業の成果 | <p>参加者 新入社員 6名+引率2名(株式会社川嶋) 配布物:清掃工場パンフレット、紙容器リサイクル事業メモ帳、リサイクルボールペン</p> <p><参加者の声> ・生活している中で、ごみの分別は大切なことだと感じた。ごみをへらすことを大切にしていきたいと感じた。 ・ごみを減らすことによって豊かな自然を守り育てることが出来る。お金の節約にもなることを学ぶことができました。 リサイクルをするためには分別することが大切だと思いました。 ・「生活には休みがない」「ごみになる時間」など当たり前のことであるが身近で見えていない部分に触れる機会であった。 ・環境問題にはお金がかかり延長線上には私たちの税金や将来にもかかわると気づいた。そのために分別のルールやリサイクルの意識が身についた。 ・ごみの処分は、浜松市がお金を払ってやっているのだと初めて知りました。なので、ごみは出来るだけ出さないように、私も3Rに貢献していきたいと思います。 ・リサイクルにはルールがあり、そのルールを守らなければリサイクル出来るものもごみになってしまうことを学んだので気を付けたいと思った。</p> <p>※リサイクル実践(紙容器リサイクル 2.05kg、ハブラシリサイクル 13本 0.15kg、アルミ付き紙パックリサイクル 0.05kg) ごみ減量 2.25kg</p> |
|-------|--|

| | |
|-------|--|
| 事業の課題 | <p>・ごみ処理にお金(税金)がかかっていることへの意識が薄い。ごみ減量行動にインセンティブがつけば参加しやすくなる。との意見があったがそもそも誰のためでもなく自分のためであること意識が薄い。</p> |
|-------|--|

